

NASPに設定するGoal等について

国土交通省 航空局

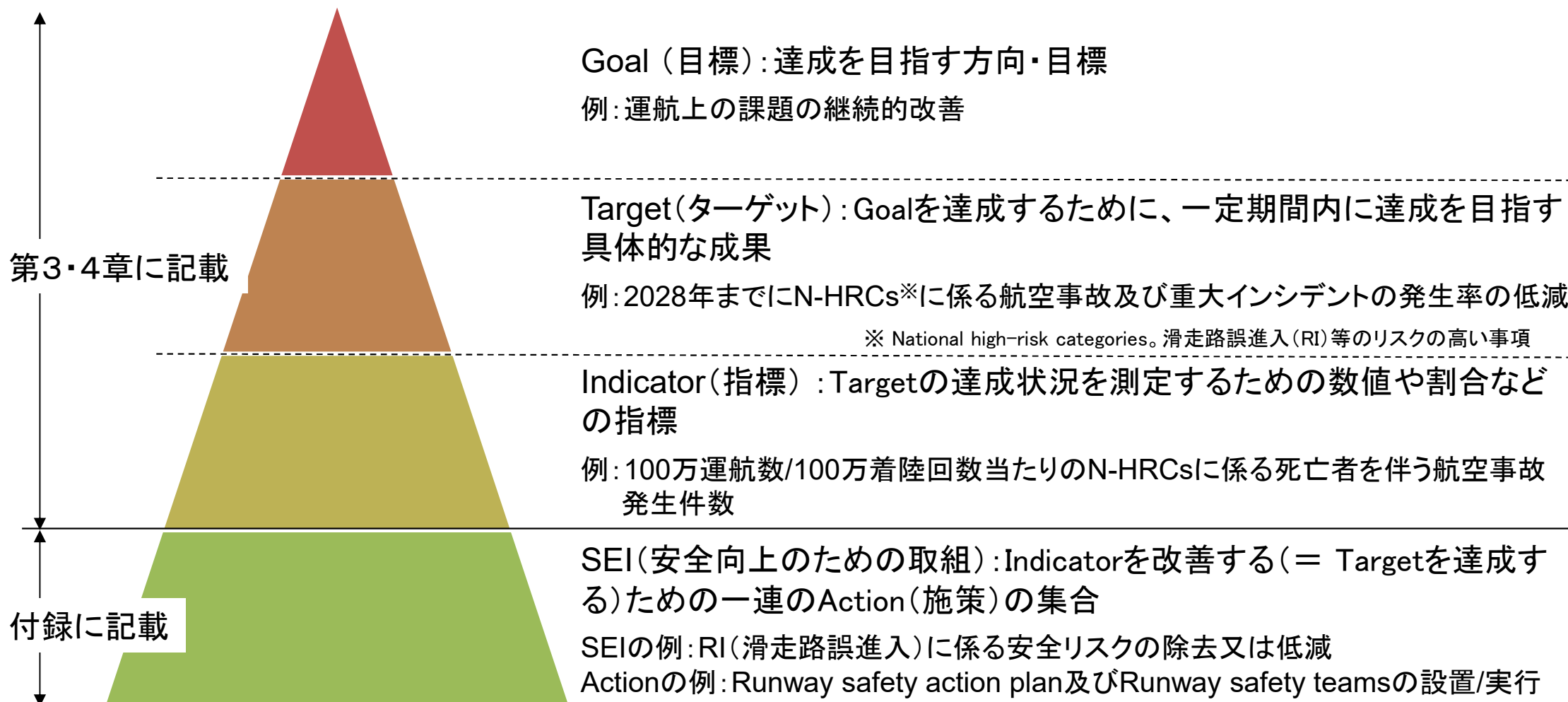
安全企画室

令和7年12月2日

NASPにおける課題設定等の構造

- NASPにおいては、運航上・組織上の課題について、ICAOマニュアルやGASP(世界航空安全計画)に準拠して特定することが求められる。
- 具体的には、特定された課題に対しGoal(目標)を設定し、それぞれに対して、Target(ターゲット)とIndicator(指標)等を設定する。

課題に係る各項目の構造



GASPにおいて特定された課題とGASPに設定されたGoal, Target

運航

課題

・ハイリスク分野 (HRC: High Risk Category)

- ①滑走路誤進入(RI)
- ②滑走路逸脱(RE)
- ③空中衝突(MAC)
- ④飛行中の制御不能(LOC-I)
- ⑤制御飛行中の地表との衝突(CFIT)

・その他の運航上のリスク

- ①乱気流遭遇(TURB)
- ②離着陸時の滑走路との異常な接触(ARC)
- ③エンジン以外の航空機システム等の故障又は誤作動(SCF-NP)

・国際基準等に準拠するための監査当局の資源不足

・航空事故調査員及び飛行場検査官等の有資格技術要員不足

・特に、飛行場運用に関連する安全问题解決に係る規制欠如

・世界レベルでのSSPの実施水準の低さ

・安全データ収集・分析・共有不足

Goal

Target

Goal 1 運航上の安全リスクの 継続的低減

- ・ 事故率の低下
- ・ HRCに関する事故・重大インシデント発生率の低下
- ・ その他の運航上のリスクに関する事故・重大インシデント発生率の低下

Goal 2 安全監督能力の強化

- ・ 70 %の国が国際基準に準拠するため十分なリソースを確保
 - ・ EISコア[※]向上
- ※ICAOによる監査における、国の安全監督能力を測る指標(Effective Implementation(EI))の点数

Goal 3 SSPの確立と実施

- ・ すべての国がSSPの実施状況を評価
- ・ すべての国がSSPを確立

Goal 4 安全課題に対応するため、地域 および国家レベルでの協力強化

- ・ 支援を必要とする国を特定
- ・ 特定された国への支援を促進
- ・ 安全リスク等の情報を活用する仕組みを導入

Goal 5 航空安全計画の強化

- ・ すべての国がNASPを公表
- ・ すべての地域がRASPを公表

Goal 6 業界評価プログラム・安全データ 共有プログラムの活用拡大


- ・ 国際的な業界団体等による評価プログラム・安全データ共有プログラムを活用する事業者の増加

組織

GASPを踏まえた我が国NASPのGoal, Targetの方向性(案)

運航上の課題


- GASPの「ハイリスク分野(HRC)」及び「その他の運航上のリスク」は、その発生頻度や発生した場合の影響の大きさ等を踏まえ、我が国でも優先的に対応すべき課題と捉えることが妥当。



GASPのGoal 1 及びTargetに準拠して設定してはどうか。

組織上の課題

- GASPのGoalは、各国が一定程度共通して目指すべき目標であり、GASPの目標達成に貢献する観点からも、我が国もこれらの目標に向け取り組むことが妥当。
- 一方でGASPのTargetは、ICAOが現状が様々な加盟国全体に関して定めるものであるため、我が国個別の行動計画であるNASPにそのまま導入しても十分なものとならない。
(例えば我が国のNASPで「NASPを公表すること」とのTargetとすると、既に実施済みの目標となってしまう。)
- また、GASPのGoal6については、民間団体等の自主的な取組に係るものであるため、国としての行動計画を定めるNASPには馴染まない。(諸外国においても取り上げていない例あり)



GASPのGoal 2～5に準じたGoalを設定しつつ、
Targetは各Goalの達成に向けて必要な取組(成果)を、我が国の現状を踏まえて設定してはどうか。

NASPにおいて設定するGoal, Target, Indicator(案)

GASP		NASP	
Goal	Goal	Target	Indicator
Goal 1 運航上の安全 リスクの継続 的低減	Goal 1 運航上の安全 リスクの継続 的低減	<ul style="list-style-type: none"> 2028年までにN-HRCsに係る航空事故及び重大インシデントの発生率の低減 2028年までにother safety riskに係る航空事故及び重大インシデントの発生率の低減 	<ul style="list-style-type: none"> 100万運航数/100万着陸回数当たりのN-HRCsに係る死亡者を伴う航空事故発生件数、航空事故発生件数、重大インシデント発生件数 100万運航数当たりのother safety riskに係る死亡者を伴う航空事故発生件数、航空事故発生件数、重大インシデント発生件数
Goal 2 安全監督能力 の強化	Goal 2 安全監督能力 の強化	<ul style="list-style-type: none"> リスクベース監視の導入に向けた安全監督体制の実現 当局職員の安全監督能力の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> SSPに基づき、安全リスク評価の仕組みを整えた分野の数 リスクベース監視の導入に向け職員の能力向上を図った分野の数
Goal 3 SSPの確立と 実施	Goal 3 SSPの効果的 な実施	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策高度化システムの構築によるデータに基づくハザードの特定、リスク管理、安全パフォーマンス評価の拡充 安全啓発活動等を通じた安全の推進に積極的な安全文化の醸成と安全情報の共有の促進 	<ul style="list-style-type: none"> リスク低減策として講じた新たな国の取組(通達改正、ガイドライン発行等)の数 航空安全当局による安全啓発活動の件数 自発報告の件数
Goal 4 安全課題に対応 するため、地域 および国家レベ ルでの協力強化	Goal 4 ICAO及び諸 外国との安全 に係る問題の 共有	<ul style="list-style-type: none"> SSPのプロセスで特定された安全に係る問題を国内や世界に展開 	<ul style="list-style-type: none"> 航空安全当局がリスク低減につながる安全性向上のために国内に紹介した取組が、航空活動関係者の新たな取組につながった事例の有無 ICAO等の国際的な会合において、航空安全当局がリスク低減につながる安全性向上のために行った提案が、新たな取組につながった事例の有無
Goal 5 航空安全計画 の強化	Goal 5 NASPの効果 的な実行と SSPの改善	<ul style="list-style-type: none"> NASPによる安全の向上を実現するための業界との協力強化とそれによるSSPの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 業務提供者からの提案等によるSSP及びNASPの取組における改善の有無